

令和4年10月31日

6年生保護者様

横浜市立若葉台小学校

校長 池田 千穂

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

本年4月に、全国の小学校6年生および中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果がまとまりました。それをもとに分析した「本校の状況」について報告いたします。なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに引き続き取り組んでまいります。

【全国学力・学習状況調査の目的】

- (1) 全国の小中学校児童生徒の学習状況について分析的・総合的に把握し、教育施策に活用するとともに、児童生徒の学力向上などに生かす。
- (2) 各学校においては、自校の一人ひとりの学習状況をとらえ、教科指導や教育評価の改善および個に応じた指導の充実などに生かす。
- (3) 児童生徒においては、学力向上のために自らの学習状況をとらえ、学習の改善などに生かす。

【本校の各教科・観点別の調査結果】 [平均正答率(%)]

●各教科の調査結果

	若葉台小学校	神奈川県	全国
国語	62	65	65.6
算数	59	64	63.2
理科	63	63	63.3

●観点別の調査結果

《国語》評価の観点	若葉台小学校	神奈川県	全国
知識・技能	63.5	66.8	70.5
思考・判断・表現	60.5	63.3	62.0

- ・平均正答率は、神奈川県や全国と比べ、全観点ともに下回っている。
- ・「知識・技能」では、文章を読み、適切なものを選択する問題の正答率はやや高かった。
- ・「思考・判断・表現」では、自分の考えを記述でまとめる問題に課題がある。説明文の学習で、自分の立場を明確にし、それに合った理由を記述で表す機会が必要である。
- ・問題の最後の方になると無回答が多くなっている。時間内に読み、熟考する時間が足りなかったと考えられる。文章量の多い問題にも対応できるように、読書活動の向上を目指す。

《算数》

評価の観点	若葉台小学校	神奈川県	全国
知識・技能	64.8	69.0	68.2
思考・判断・表現	50.9	57.5	56.7

- ・平均正答率は、神奈川県や全国と比べ、全観点ともに下回っている。
- ・「数と計算」について、基本的な四則計算の処理は一定程度の理解は図られている。一方、正三角形や平行四辺形・ひし形の作図など「図形」領域について、構成の仕方を捉えて考えることには課題がある。
- ・記述式の解答については無解答の割合が高い。「知識・技能」を活用して問題に取り組み、理解できるように支援を継続していく必要がある。
- ・「解答に必要な条件を理解する」など、題意を正確に読み取る力を向上させ、「思考・判断・表現」を活用して問題に取り組めるように支援していく必要もある。

《理科》

評価の観点	若葉台小学校	神奈川県	全国
知識・技能	62.2	61.8	62.5
思考・判断・表現	63.2	64.2	63.7

- ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに全国平均並みの結果になっている。
- ・器具の名称や正しい使い方、適切な記録の仕方を身につけている児童が多い。

【児童質問紙の調査結果（顕著な傾向や特に着目したい項目）】

- 各質問事項に対する回答は、 1（当てはまる） 2（どちらかといえば当てはまる）
3（どちらかといえば当てはまらない） 4（当てはまらない） に分けられている。
- 基本的に上記回答のうち、1および2、つまり「該当する」割合で以下に掲載する。

質問事項	若葉台小学校	全国
自分には、よいところがあると思いますか	84.1	79.3
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	82.6	87.2
将来の夢や目標を持っていますか	76.8	79.8
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)1日当たりの勉強時間が <u>30分未満</u> の割合（学習塾等を含む）	5.8	10.5

- ・約8割の児童が「自分には、よいところがある」と思っている。多くの児童が自尊感情をもっているのとらえている。引き続き、自分や他人のことを大切にすることを育てていく。
- ・将来の夢や目標をもっている児童が全体の4分の3以上いる。これからも、夢や目標に向かって様々な体験ができるよう支援していく。
- ・9割以上の児童が、毎日30分以上の家庭学習(学習塾等を含む)を行っている。それぞれの児童の生活状況を加味して、必要な支援を継続していく。